

萩ジオパーク

推進協議会だより vol.91

萩ジオパーク推進協議会

| 2022年9月30日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

☎ 0838-21-7765 ☎ 0838-25-7767

✉ geo@city.hagi.lg.jp

🌐 <https://hagi-geopark.jp>

📘 <https://www.facebook.com/HagiGeoProject>



萩ジオアカデミー2022 が開講しました！

私たちの暮らしを支えている“大地”が、どのようにして誕生し、どのような特徴を持っているのか、野外見学や座学などで学ぶ講座「萩ジオアカデミー」の2022年度第1回を9月10日に開催しました。午前中は、2回に分けて遊漁船に乗り込んで、海上からしか見られない1億年前の地層や水玉模様の崖“モドロ岬”の景色を見に行きました。地元食材を使った昼食を味わった後、午後からは、モドロ岬の不思議な景色の「みずたまマグマボトルづくり」などでひも解く座学を行い、最後は、小磯の鼻・清ヶ浜の海岸探検で1億年前の巨大火山の痕跡をたどり、前日からの時化や、岩場などの足場の悪い場所を歩きましたが充実の1日となりました。



Mine秋吉台ジオパークジオガイド養成講座

9月25日、Mine秋吉台ジオパーク推進協議会が萩ジオパークでジオガイド養成講座を行いました。この講座は、Mine秋吉台ジオパークの認定ガイドやジオガイドを目指している受講生が、萩ジオツーリズム協会から萩ジオガイドのガイドテクニックや接遇を学ぶために開催されたものです。

まずは、城下町

江戸屋横町から御成道を通って菊屋横町へ1周回
る中で、ガイドが夏みかんの話や、白壁の景色
を案内していました。皆さん、「観光ガイドな
の?」と思って不思議に思っている様子で
したが、グループに分かれて2つの地図を見
比べたりして、段々と城下町の地形の話や、
白壁の基礎に使われている石の話などジオ
の要素が濃くなってくると、ガイドテクニ
ックが分かってきたようでした。ツアーの
内容もさながら、ジオガイドのテクニック
にも刺激を与えられたようで、メモをた
くさん取っていました。序盤から勉強にな
った様子でした。



次は、笠山

昼食を取ってから笠山へ。椿群生林で行うガイドは五感
を使った遊びのあるもので、ガイド中に行う宝箱に入った宝
物と似たものを探す遊び「そっくりさんをさがせ」では、
一番似ているものを探そうと童心に戻ったかのように楽し
んでいました。



そして、溶岩の海岸へ

笠山のゴツゴツした溶岩の上を歩き、波打ち際の平らな場
所へ。ここは城下町の基礎石を採取した石切り場です。切
り出した証拠になる矢穴跡を探したり、溶岩を触ったり、
きれいな景色を見ながら波の音を聞いたり、五感を使っ
て楽しんでいました。



2つのジオガイドツアーを体験し、萩ジオガイドの様々なガイドテクニックや、ジオサイトの見せ方を学んだ受講生のみなさん。最後に行った交流会ではテクニックや協会の体制についての質問が飛び交い、とても賑わっていました。

サンゴの大地のMine秋吉台ジオパークとマグマの大地の萩ジオパーク。舞台は違うけど、隣り合うジオパーク同士、今後もこういった交流ができるといいですね。

9月1日、3名の大学生のインターンシップを受け入れました。インターンシップとは、学生が企業や官公庁で短期間の業務を行うことで、今回、山口大学に在学の中村祐哉さん、廣石潤さん、山口県立大学に在学の江本夏凜さんが萩市役所の部署で数日間、ジオパーク推進課で1日インターンシップを行いました。

午前中、まずはジオパークとは何かをビジターセンターにて学んでもらいました。他の部署と違って定型業務が少なく、外での活動が多いジオパーク推進課。そのため実際に笠山山頂展望台へ行き、各学校向けや来客者にプログラムを行っていることや笠山が活動拠点の1つになっていることを伝え、みんなで掃除を行いました。

午後からは、阿武町へ萩ジオアカデミー（1ページ参照）の募集チラシ配布のお願いに各箇所を回り、須佐のつわぶきの館へ販売グッズの納品を行いました。「公務員はほとんどが卓上での仕事」と思っていた3人。「こんなに広範囲で活動する部署があるんだ」と帰路の車内で盛り上がっていました。

ジオパーク推進課は全国でも稀な部署であり、ジオパークとは何か、どんな仕事をしているのかをインターンシップを通じて理解してくれた様子でした。来年から就職活動が始まる3名。再来年度には萩市職員として活躍してくれると嬉しいですね。

インターンシップの感想

参加してみて、萩ジオパークがどういったものなのかを学び、理解しました。最初、ジオパークとは火山などによってできた地形のことかなと考えていましたが、実際は大地の特徴を人々が理解し、人の暮らしを考える活動のことであると分かりました。笠山や須佐湾などを見に行かせていただき、今の萩の地形や人の暮らしに自然の歴史がどう影響しているのかが実感でき、また、昔のまま残っているものもあり、萩の地形についてとても良い学びができました。この財産を持続し発展させていく必要性も理解でき、新しい世代に繋げていけないと感じました。



小中学校

新学期スタート！小中学校でジオパーク学習

夏休みが終わり新学期がスタートして、小中学校の児童・生徒の皆さん向けの活動が再開しました。今年も続々とご依頼をいただいています。



むつみ小



椿東小

9月13日 美祿市立伊佐中学校2年生
9月29日の萩での現地学習に先駆けて、専門員がオンラインで事前学習会を実施しました。

9月14日 萩市立椿東小学校3年生
笠山周辺を舞台に大地と人の暮らしの関わりを学びました。笠山ジオの会の皆さんのご案内で、風穴・明神池周辺をめぐるたあと、山頂へ移動して展望台や火口の見学、火山噴火実験を体験していただきました。

9月16日 萩市立むつみ小学校3・4年生
9月30日に笠山と須佐、10月7日にむつみ周辺を巡る現地学習の予習として専門員が学校におじゃまし、地域の自然の特徴に合わせて工夫して暮らすことの大切さをクイズ等で学びました。

9月21日 萩市立萩東中学校1年生
総合的な学習の時間に笠山山頂で展望台や火口の見学、火山実験を体験していただきました。ここでも笠山ジオの会の皆さんが講師を務めました。

日本ジオパーク再認定審査・現地調査が行われます！

日本ジオパーク再認定審査は、認定後4年を経過した日本ジオパークに対し、地質遺産の保全、活用のしくみと取り組み、前回審査時からのジオパーク活動の進展などを確認し、日本ジオパークの質の向上を図るために、日本ジオパーク委員会によって行われます。

2018年に新規認定された萩ジオパークは、今年が初の再認定審査の年で、9月15日に4年間のジオパーク活動についてまとめたプログレスレポート（現況報告書）等を提出しました。併せて、現地調査が10月13日・14日の2日間行われます。これは、現地における活動の進捗状況を確認し、より良いジオパークになるように地域と調査員がともに考え、学び合う場です。調査内容については現在調査員と調整していますが、関係者からのヒアリングや面談、検証が必要なジオサイトや関連施設を視察します。それに先立ち、この4年間の活動に関わっていただいたみなさんと萩ジオパークについて振り返る場を下記日程で開催します。今一度ジオパーク活動について一緒に考えてみませんか。

- 日時：10月4日（火）午後1時30分～（1時間程度）
- 場所：萩市役所大会議室
- 備考：参加を希望される方は、事務局（0838-21-7765）へお知らせください。

新規認定審査の時の現地調査の様相



萩ジオアカデミー #02

小さな火山・阿武火山群のひみつを探ろう

開催！

第一線の研究者から学術研究の成果を学ぶ萩ジオアカデミー。第2回目は阿武火山群を題材に、火山活動のしくみについて学び、阿武火山群の特徴と其中で最も激しい噴火をした伊良尾火山を現地見学することで、露頭の見方を学ぶ回です。

- 日時：11月5日（土）10時～15時
- 場所：弥富公民館（現地集合）
- 講師：清杉孝司（神戸大学）
- 定員：20名（先着順）
- 参加費：1,200円（昼食・保険・資料代）
- 申し込み：電話（0838-21-7765）またはホームページよりお申し込みください。
- 備考：昼食については、龍の里やどみのそばを予定しています。
アレルギーのある方はお申し出ください。



10月の予定

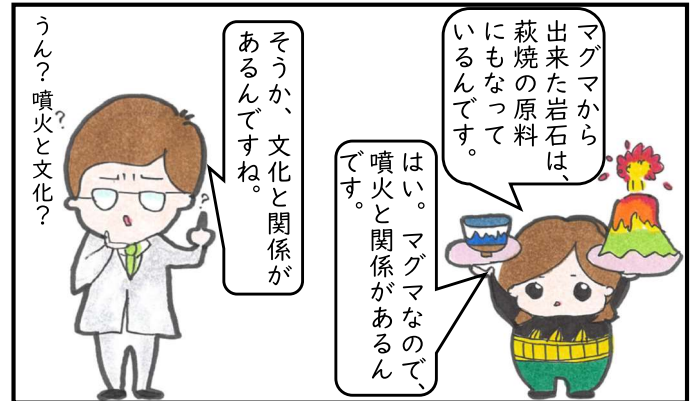
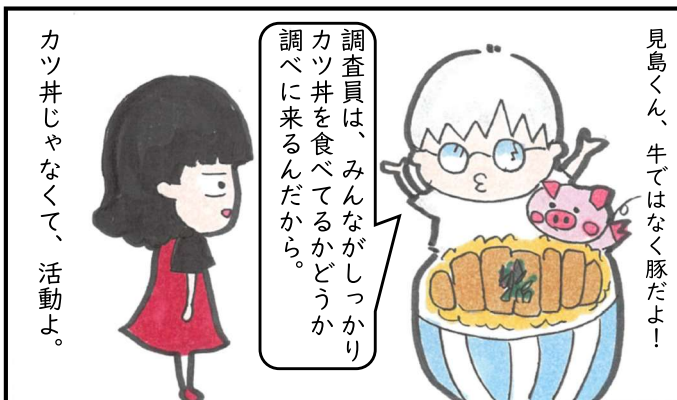
- 笠山ジオの会 笠山噴火実験&火口見学ミニツアー 10月8日（土）、10月22日（土） 時間：13:00～、14:00～、15:00～の1日3回。各回所要時間15分 内容：地元越ヶ浜の皆さんを中心に活動する「笠山ジオの会」が笠山山頂を舞台に笠山の成り立ちが分かる実験と火口見学ツアーを開催 料金：高校生以上200円、小中学生100円、乳幼児無料 受付：当日現地受付 定員：先着10名
- geoとも（萩ジオ友の会）定例会 10月15日（土）内容：100円バスに乗って、舟に乗ってまち歩きへ 集合場所：中央公園 主催・問い合わせ：geoとも 桂（0838-21-7173）、中西（080-8747-9383）
- 日本ジオパーク委員会再認定審査・現地調査 10月13日（木）～14日（金）※詳しくは上記参照
- 第12回日本ジオパーク全国大会・白山手取川大会 10月22日（土）～23日（日） 内容：全国のジオパーク関係者が一堂に会し、分科会やポスター発表等で情報交換、交流を図る。一部YouTube Live配信の視聴ができます。

はんだ がんばれ!半田くん

原作：わっきー教授 画：白玉だんご

第72話 再審査 準備編

第73話 再審査 本番編



わっきー教授のつぶやき

日本ジオパーク委員会という組織があります。この委員会が、ジオパークを審査したり、認定したりしています。ワッキー教授は、この日本ジオパーク委員会を立ち上げるとき事務局として働いていました。でも、そんなことは、もう誰も覚えていないよう〜。え〜ん（泣）。

さて、この日本ジオパーク委員会が萩ジオパークを日本ジオパークに認定したのは、今から4年前の2018年9月20日のことです。日本ジオパーク委員会は、日本各地のジオパークを4年に1度再審査することにしています。再審査をすることで、ジオパークの活動がきちんと継続的に行われているかをチェックすることができます。審査のポイントは、地質遺産の保全や活用をどのように行っているか？ジオパーク活動は4年間でどのように進展してきたか？などです。4年前に萩ジオパークが認定されたときに、100%問題なしとされた訳ではなくて、こんなところは、改善した方がよいよ、と指摘されていたので、その指摘されたところが改善されたかどうか、審査されます。

ワッキー教授も、ジオパーク関係者も、審査前はビクビクしています。審査でレッドカードを出されると、サッカーで言えば退場処分。つまり、ジオパークと名乗ることが出来なくなります。四コマ漫画「がんばれ半田くん」の仕事を失い、ワッキー教授も奥さんから怒られます。そうなっては大変です。しっかり準備して備えなければなりません。そこで、ワッキー教授は、白玉団子先生と共同で、四コマ漫画「がんばれ半田くん！」特別編 再審査バージョンを作成しました。これで、わたしたちがいかに真剣にジオパークに取り組んでいるかが、審査委員に伝わったと思います。もし審査委員がギャグが分らないと、結果は逆（ギャグ）になります。

10月中旬には、現地調査があります。2人の委

員が現地調査員として萩を訪れ、ジオパークの活動状況を視察します。そのときは、ジオパーク関係者だけではなく、一般市民にもインタビューがあると思います。そのときは、しっかりジオパークのことを説明してあげてください。

調査員「あなたは、ジオパークについて知っていますか？」

市民① 「はい。ジオパークは大好きです。美味しいのなんのって、朝昼晩と食べています。」

いくら、ジオパークを褒めたくても、こういう褒め方は良くありません。

調査員「ジオパークは、みなさんの生活にどのように関係していますか？」

市民② 「ジオパークは、わたしたちの生活そのものです。溶岩台地の上に育った大根を食べ、溶岩で複雑な地形をしている萩沖の美味しい魚が毎日の食卓を飾っています。毎日のお皿も箸も、マグマがもたらした土で創られた萩焼を使っています。」

市民②の方の答えは良さそうですが、日常食器として萩焼を使っている人は少ないでしょうね。特に箸も萩焼なんて、箸にも棒にもかからない答えですね。

萩ジオパークの現地調査は、10月13・14日。もうすぐです。この地域の発展のためにがんばっている「萩ジオパーク」をみんなで応援して、ジオパークの再審査を乗り切り、無事再認定されて、みんなで喜び合いましょう。半田君たちもきっと喜んでくれると思います。

